

資料② 賛成が一番多かったもの

3. 本計画における将来人口シミュレーション

先に社人研推計及び前計画の推計を見ましたが、本計画における将来人口シミュレーションを実施する際、次の点を考慮しました。

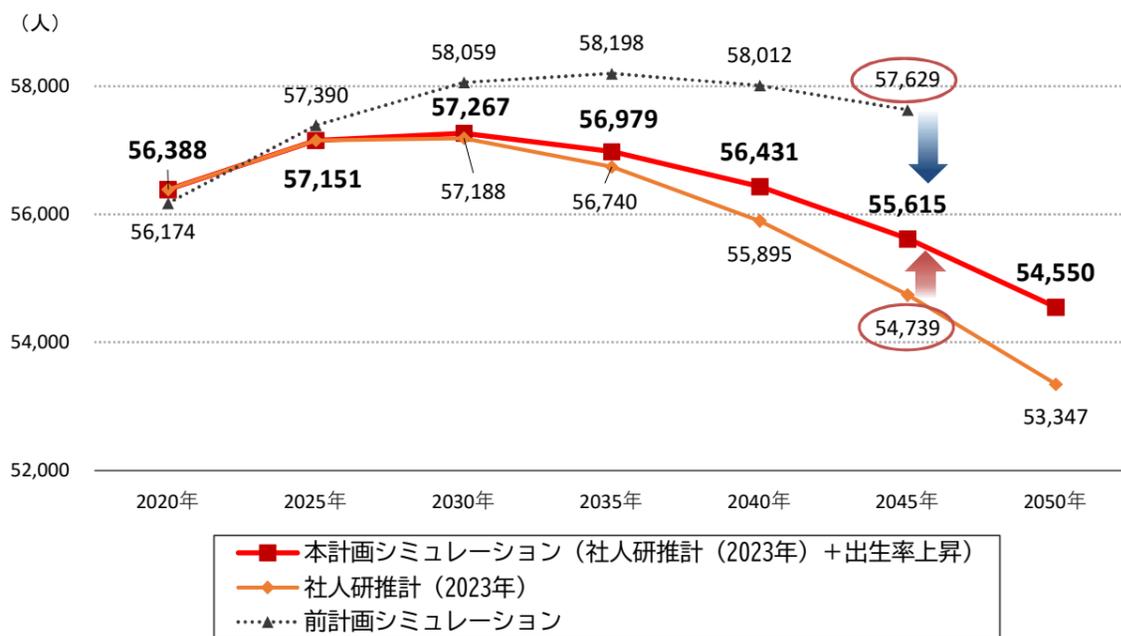
社人研推計における瑞穂市の合計特殊出生率は、以下のように設定されています。 △0.22

	2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
社人研推計(2018年)	1.82	1.80	1.80	1.82	1.82	1.82	-
社人研推計(2023年)	-	1.51	1.55	1.59	1.60	1.60	1.61

社人研推計の設定のうち、令和27(2045)年の合計特殊出生率を見ると、今回(2023年)の設定値は、5年前の設定値から△0.22となっていることから、市の目標値も△0.22の修正を行い、1.85とする。

上記を考慮したうえで、国が提供するワークシートを用いて、次の通り、将来人口のシミュレーションを行いました。その結果、令和27(2045)年において、前計画より目標値は下がりますが、社人研推計(令和5(2023)年推計)より876人の人口増を見込むことができます。

◆本計画の将来人口シミュレーション◆



※前計画においては令和27(2045)年までの推計の実施となります。

※「本計画シミュレーション」及び「社人研推計(2023)年」について、令和2(2020)年は国勢調査に基づく実績値、令和7(2025)年以降は推計値となります。

《合計特殊出生率の設定値》

	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
社人研推計(2023年)	1.51	1.55	1.59	1.60	1.60	1.61
本計画シミュレーション	1.51	1.60	1.70	1.80	1.85	1.85

※社人研統計欄の合計特殊出生率は社人研が独自で設定した数値。

社会保障・人口問題研究所が2018年と2023年に実施した推計の合計特殊出生率の設定状況に着目し、それぞれの2045年時の合計特殊出生率を比較すると△0.22下方修正されていることから、市の目標とする合計特殊出生率も前回(現行)の人口ビジョンで2.07であったものを同様に△0.22下方修正し、1.85とするものです。

4. 人口の将来展望の設定

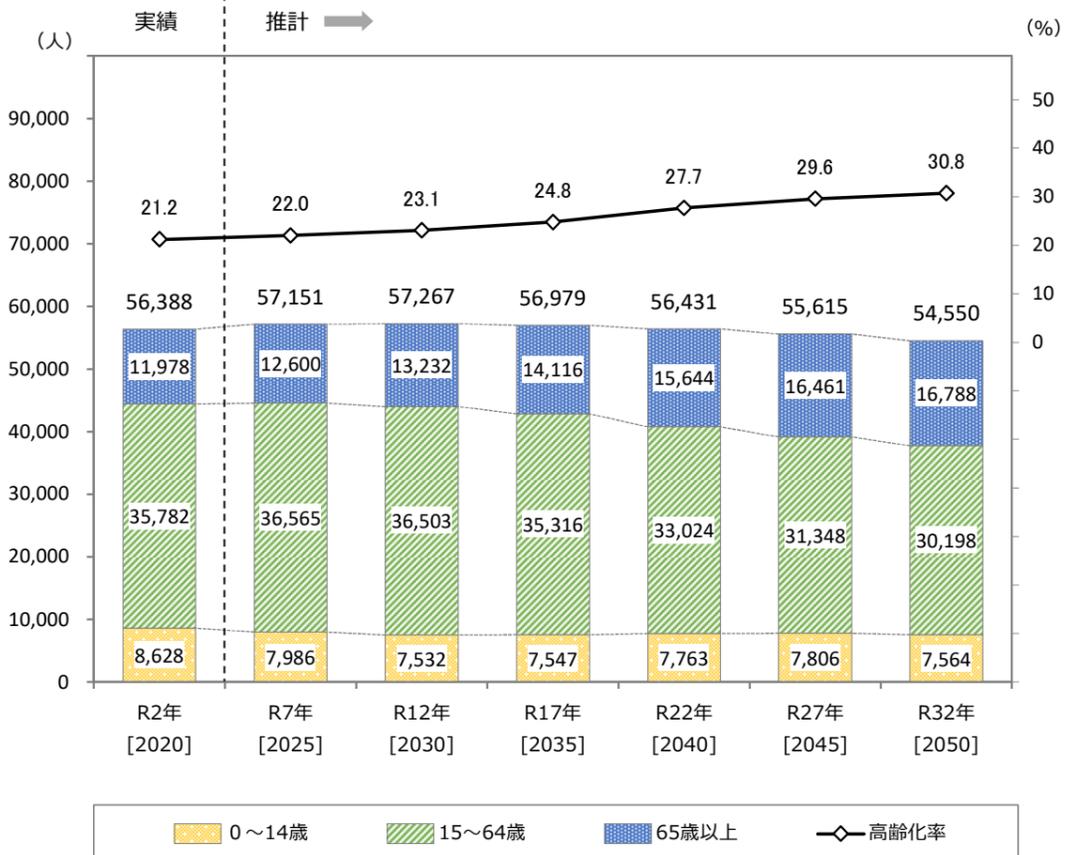
これまでに見た本市の現状や各種人口推計結果等を勘案した結果、「3. 本計画における将来人口シミュレーション」における「本計画シミュレーション」を、本市の将来人口と設定した上で、次のとおり、本計画における人口の将来展望を設定します。

人口の将来展望の設定

- ◆ 子育て支援の充実や若者世代の定住促進、地域産業の活性化等に寄与する様々な施策を展開することにより、人口ビジョン対象期間の最終年である令和32(2050)年の人口を **54,000人以上**と展望する。

上記、人口の将来展望を反映した人口推計は以下の通りです。

◆瑞穂市の人口の将来展望◆



2045年に「1.85」とし、2025年から徐々に1.85に向け上昇する数値を設定しました。(途中の年は小数点第2位以下を四捨五入しました)